

と き 令和6年4月23日（火）

ところ 北部公民館 第1・第2学習室

令和6年調布市公民館運営審議会 第2回定例会速記録

開会 午後2時6分

○安部委員長　それでは、皆さん、こんにちは。定刻より過ぎまして申し訳ございません。ただいまから令和6年調布市公民館運営審議会第2回定例会を開催いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議事に入る前に、定足数について事務局から報告をお願いいたします。

○丸山東部公民館長　本日、澤田委員から欠席の御連絡はいただいていないのですけれども、今連絡が取れないような状況で、1名欠です。その他の欠席者はございません。現時点において9人中8人の委員が御出席されておりますので、調布市公民館運営審議会規則第5条に規定されている定足数に達している状況となっております。

以上です。

○安部委員長　ありがとうございます。定足数に達しているということですので、引き続き審議会を進めてまいります。

次に、本日の傍聴希望者の有無につきまして……来られました。

○澤田委員　すみませんでした。

○安部委員長　いいえ、では、全員出席ということで。

傍聴者の有無につきまして、事務局から報告をお願いいたします。

○小野北部公民館長　傍聴希望者は4名いらっしゃいます。

○安部委員長　それでは、入室をお願いいたします。

(傍聴者入室)

それでは、資料の確認につきまして、事務局からお願いいたします。

○田中東部公民館主査　本日の資料を確認させていただきます。まずは、郵送でお送りしました資料から確認をいたします。令和6年調布市公民館運営審議会第2回定例会日程であります。2点目、資料1、令和6年4月1日付教育部人事異動報告です。次に資料2、令和6年度調布市公民館職員配置表です。次に資料3、令和5年度使用状況報告（令和6年1月～3月分）です。続きまして資料4、令和5年度使用状況報告（令和5年度分）です。次に資料5、令和5年度事業報告（1月～3月分）です。続きまして資料6、事業報告（令和5年度分）です。続きまして資料7、社会教育委員の会議（令和5年度第5回定例会）次第です。続きまして資料8、社会教育委員の会議（令和5年度第6回定例会）次第です。続きまして資料9、公民館利用団体登録（新規）について、ゼンダングルの会です。次に資料10、公民館利用団体登録（新規）について、彩りダーニングです。続きまし

て資料11、公民館利用団体登録（新規）について、絵手紙花の会もみじです。傍聴人の皆様に申し上げますが、資料9、10、11につきましては、審議会終了後回収いたしますので、机の上にそのまま置いて退室をお願いいたします。

続きまして、本日、机上配付をした資料について御紹介いたします。1、令和5年度成人学級「調布トマトの会」学習記録。2点目、令和5年度成人学級学習記録「いのちの楽校」。続きまして3点目、令和5年度成人学級学習記録「ウエストガーデンきらら」。4点目、令和5年度成人学級学習記録ママの人生を彩りよくするためのサークル「成人学級まるふおーと」。続きまして5点目、「出逢い つながり 学びあうー調布市西部公民館開館40年のあゆみー」。続きまして、6点目、令和5年度成人学級学習記録「サステナブルを学ぶ会2023 Since2020」。続きまして、最後になりますが、令和5年度成人学級学習記録「Multicultural Study Group多文化共生学習グループ」、以上7冊になります。皆さん、おそろいでしょうか。大丈夫でしょうか。

以上でございます。

○安部委員長 お手元におそろいでしょうか。不足なものがありましたら、事務局にお伝えくださればと思います。

それでは、議事に入ります前に、今回の「公民館だより」の記録につきましては、澤田委員にお願いしたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。字数とかは、また後ほど事務局から説明があると思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

○澤田委員 分かりました。

○安部委員長 それでは、日程第1、報告事項、(1)令和6年4月1日付人事異動について及び(2)令和6年4月1日現在の公民館職員配置表につきまして、この2件は関連する内容ですので、一括で丸山東部公民館長から説明をお願いいたします。

○丸山東部公民館長 (1)令和6年4月1日付人事異動について及び(2)令和6年4月1日現在の公民館職員配置表について報告いたします。

初めに、資料1を御覧ください。こちらは教育部管理職の人事異動を報告するものです。

なお、公民館の異動は後ほど紹介いたしますが、東部公民館長に私、丸山義治が新たに着任しております。

続きまして、資料2を御覧ください。令和6年度調布市公民館職員配置表となります。4月1日付で職員配置が変更になりましたので、管理職以外を報告いたします。

東部公民館には、主査に田中美佐、主任に佐藤一美、西部公民館には、主査に市瀬秀、

会計年度任用職員として大野裕子、北部公民館には、主任に中村光次がそれぞれ新たに配属となりました。

令和6年4月1日付人事異動について及び令和6年4月1日現在の公民館職員配置表についての報告は以上となります。

○安部委員長　ただいまの人事異動に関する報告につきまして、皆さん御承知おきをお願いいたします。

それでは、改めまして、新たに東部公民館長に着任された丸山館長、一言御挨拶をお願いいたします。

○丸山東部公民館長　新たに東部公民館長に着任いたしました丸山です。源後の後任という形になります。

社会教育関係につきまして初めての異動となります。東部公民館に関しては、年齢的な要素の縦軸、教養文化の横軸がかなり集約された箇所だと思っております。また、東部公民館、西部公民館、北部公民館と連携を図りながら公民館事業を盛り上げていけたらと思っておりますので、引き続きよろしくをお願いいたします。

○安部委員長　ありがとうございます。次第にはなかったのですがけれども、田中主査、着任されているので、御挨拶をお願いします。

○田中主査　委員長の御指名でございますので、手短に申しあげます。4月1日付で東部公民館主査を拝命いたしました田中と申します。

4年ほど前に東部公民館に1年ほど勤めさせていただきました。最近の様子等も学びながら、また皆さんの学習支援の一助になればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○安部委員長　よろしくをお願いいたします。

続きまして、(3)使用状況報告（令和6年1月～3月分）について、丸山東部公民館長から御説明をお願いいたします。

○丸山東部公民館長　続きまして、資料3を御覧ください。(3)令和5年度調布市公民館使用状況報告（令和6年1月～3月分）についてです。初めに、一部数値の訂正がございますので、報告いたします。

○福澤西部公民館長　西部公民館分になります。

1ページをお開きください。1月公民館使用状況（施設別）になります。真ん中の一番左に西部と書いてあるところが西部公民館の部分です。西部の部分の一番下、（保育室）

と書いてあるところがございます。その欄の右3つなのですが、計単位、利用率%、人数が全てゼロになっておりますが、1単位使っているところがございまして、そちらの数値を入れてございませんでした。申し訳ございませんでした。訂正をお願いいたします。

保育室の右から3つ目の計単位のゼロを1に変更してください。あわせて、隣の利用率%も1、最後の人数が3になります。3人保育をいたしました。おわびして訂正いたします。申し訳ございませんでした。

○安部委員長 トータルは変わらないのですね。

○福澤西部公民館長 トータルは変わりません。保育室なので、3がトータルになります。

○丸山東部公民館長 それでは、続けさせていただきます。

初めに、1月分です。4ページをお願いいたします。下から4行目、公民館ごとの合計欄を御覧ください。東部公民館においては121単位、1,033人、西部公民館においては110単位、1,325人、北部公民館においては186単位、1,501人の使用がございました。3館合計で417単位、3,859人の使用でした。前年の1月と比較し、東部公民館では19単位、62人の減、西部公民館では3単位の減、255人の増、北部公民館では29単位、105人の減となりました。

続きまして、2月分です。5ページをお願いいたします。下から4行目、公民館ごとの合計欄を御覧ください。東部公民館においては142単位、1,191人、西部公民館においては88単位、876人、北部公民館においては192単位、1,281人の使用がありました。3館合計では422単位、3,348人の使用でした。前年の2月と比較しますと、東部公民館では12単位、180人の増、西部公民館では33単位、397人の減、北部公民館では単位の増減はなく、25人の減となりました。

最後に3月分です。6ページをお願いします。下から4行目、公民館ごとの合計欄を御覧ください。東部公民館においては167単位、1,533人、西部公民館においては128単位、1,519人、北部公民館においては208単位、1,727人の使用がございました。3館合計で503単位、4,779人の使用でした。前年の3月と比較しますと、東部公民館では7単位、191人の増、西部公民館では2単位、298人の増、北部公民館では10単位の減、79人の増となりました。

なお、3公民館の全体的な主な増要因といたしましては、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザ等と同様、5類感染症に位置づけられたこ

とに伴い、調布市公共施設の開館・利用における感染拡大防止ガイドラインが廃止され、諸室の使用制限等が撤廃されたことが要因と考えております。

減要因としては、西部公民館の館内工事で学習室が1つ使用不可になったことと、マスクを外す環境が通常の生活に戻りつつあった中、コロナ、インフルエンザ等の感染症が流行したことが要因と考えています。

説明は以上となります。

○安部委員長 ありがとうございます。報告について何か御質問等ございませんでしょうか。大丈夫ですか。

(「なし」の声あり)

それでは、質疑がないようですので、次に(4)使用状況報告(令和5年度分)について、丸山東部公民館長から御説明をお願いいたします。

○丸山東部公民館長 次に、資料4を御覧ください。(4)令和5年度調布市公民館使用状況報告(令和5年度分)について御報告いたします。大変申し訳ございませんが、資料3に引き続き、一部数値の訂正がございます。

まずは1ページを御覧いただければと思います。項目の下から2番目、前年同期合計、右から3番目、計単位の欄の数値5,607でございますが、正しくは5,619となり、それに伴って、その下の差ですけれども、246が234となります。

○福澤西部公民館長 あわせて、西部公民館です。誠に申し訳ございませんが、資料の1月から3月分を修正した関係で、5年度全体の施設の集計も修正をさせていただきます。

1ページ真ん中部分に西部公民館がございます。西部公民館の一番下、(保育室)の右から3番目、28の単位を29に、利用率は変わりませんので、最後の一番右側、人数131を134に変更をお願いいたします。おわびして訂正いたします。重ね重ね誠に申し訳ございませんでした。

○丸山東部公民館長 それでは、全体の報告をさせていただければと思います。

2ページになります。下から4行目の公民館ごとの合計欄を御覧ください。東部公民館においては1,923単位、1万6,561人、西部公民館においては1,492単位、1万7,557人、北部公民館においては2,438単位、1万8,293人の使用がありました。3館合計で5,853単位、5万2,411人の使用でした。前年度と比較いたしますと、東部公民館では132単位、1,909人の増、西部公民館では8単位、1,706人の増、北部公民館では94単位、1,412人の増となりました。

昨年度と比べ、3公民館全て増となっており、その主な要因といたしましては、先ほどの資料3で御説明した、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザ等の位置づけに変わられたことが要因と考えております。

説明は以上となります。

○安部委員長 ありがとうございます。ただいまの報告につきまして、何か御質問等ございますでしょうか。ございませんか。

(「なし」の声あり)

それでは、質疑がないようですので、次に(5)事業報告(令和6年1月～3月分)につきまして、丸山東部公民館長、説明をお願いいたします。

○丸山東部公民館長 それでは、令和6年1月から3月までの事業報告をさせていただきます。資料5の1ページをお開きください。初めに、東部公民館です。

東部ジュニア教室Ⅳ「親子でくまさんプチチョコカップケーキ作り」です。ふわふわのチョコカップケーキにかわいいクッキーの耳がついた熊さんのお菓子で、おいしくてかわいくて贈り物にもぴったりのラッピングもお子さんと一緒に楽しんで作りました。

参加者からは「かわいい飾りつけやチョコペンでお絵描きするのがとても楽しかったです」「意外とトッピングが難しかったです」といった感想がありました。保護者からは「とても分かりやすく、子どもと楽しむことができました」「小さな下の子がいるので、上の子とゆっくりできました」「分かりやすく、ラッピングの仕方もかわいく教えてくれたので、とても参考になりました」といった感想がありました。

東部ジュニア教室Ⅴ「お仕事プチ体験！～お菓子の会社でパッケージをデザインしよう」は、お金に関する学習が小学校の学習指導要領にも盛り込まれ、学習機会が増えており、身近にあるお菓子を販売する会社の企画体験を通して、楽しみながらお金や社会の仕組みに触れる機会として開催しました。

参加者からは「社会がこんな仕組みなっていると知れていいと思いました」「大変でうまくいかないことやうまくいくこともあり、とても勉強になった」といった感想がありました。保護者からは「会社は大変だと改めて思いました」「少し株に手を出したいなとも思いました」と素直な感想がありました。

東部ジュニア教室Ⅵ「ゼンタングル体験～ぐるぐる・集中・すっきり」は、禅とタングル——絡むという意味ですけれども——という言葉をつなげた造語で、簡単なパターンを繰り返し描くことで、お子さんも美しいアートを楽しめる創作活動です。見えないストレ

スを抱えているお子さんも、1本の線も間違いではなく全てを経験と肯定的に捉えるなど、集中して描くことで心と体を緊張から解き放つことができる可能性があることも期待して、春休みに開催しました。

参加者からは「ぐるぐるがすごかった」「1つのアルファベットからいろいろな工夫を積み重ねてすごい絵が描けました」といった感想がありました。

ファミリーコンサート「0歳児から楽しめる音楽会」は、桐朋学園大学や海外で学んだ女性4人による弦楽四重奏の生演奏によるコンサートです。ゼロ歳から本格的な音楽に触れる機会とし、家族で生演奏を周りを気にせずに聴ける楽しさを感じてもらい、リズムに合わせて踊ったり歌ったりを楽しむ企画として開催しました。途中、バイオリン奏者2名の方は、演奏しながら会場を回り、周囲を楽しませてくれました。

参加者からは「本格的な演奏に感動しました」「また、0歳児がいても安心して連れてこられるのがとてもうれしいです」「小さい子どもがいるとなかなかコンサート等に行けないので、母子共々よい体験ができました」といった感想がありました。

続きまして、成人教育です。講演会Ⅰ「新たな津田梅子像～生物学研究者としての横顔」は、令和6年新5,000円札の顔となる津田梅子、津田塾大学の前身、女子英学塾を開いた明治の女子英語教育の先駆者であることはよく知られているとのこと。しかし、2回目のアメリカ留学時代、担当教授に大学に残るように引き止められるほど優秀な生物学研究者であったことはあまり知られていません。こうした生物学研究者としての梅子の横顔に光を当て、調査研究を行った講師に、生き方を科学史とジェンダーの視点からお聞きし、新たな梅子像に迫る講演を開催しました。

参加者からは「津田梅子について、女性の生き方、科学史、日本と世界の教育事情等、多様な観点から講師御自身の体験等も交えてお話しいただいて、大変興味深いものでした」「これからの私たちの生き方、日本において、世界においてどう生きるかを考えていく上での大きな力となるように思います」といった感想がありました。

東部市民講座Ⅱ「朗読『朱雀門』を読む（上編）～長谷雄草紙より」は、ミュージカル「アニー」の演出家でもある講師が、日本語は50音が基本、美しいという言葉の発音は、実は5割の方が正しく発音できない言葉なのです。こんな日本語の秘密も触れながら、平安京の恋物語を楽しく朗読することで、日本語の微妙な発音の違いを学びました。

参加者からは「初めての体験でしたが、奥深い朗読に興味が湧きました」「先生の迫力あるお声には感動いたしました」といった感想がありました。

平和事業Ⅰ「ドキュメンタリー映画の上映とお話『ムクウェゲ『女性にとって世界最悪の場所』で闘う医師』」は、ムクウェゲというのは、紛争で性暴力に遭った女性を救うコンゴの産婦人科医の名前です。2月の国際理解講座でも取り上げたコンゴの紛争鉱物問題に端を発する紛争の武器としての性暴力の被害者である女性たち。彼女たちを心身ともに救ってきたムクウェゲ医師は、2018年ノーベル平和賞を受賞しました。遠い国で起きていることと片づけられないその背後にある問題と私たちの関わりをドキュメンタリー映画と上映後のお話から考えてみました。

参加者からは「女性、人間として知らないことばかりでした。ショックでした」「女性に対しあのような残虐なことを、武装勢力に引き入れられたとしても平気でレイプ、殺りくを繰り返すトラウマにならないのか、各国間の現在の戦争などでも精神がおかしくなってしまう人が多いと思った」「とても人ごとではないと思います」といった感想がありました。

次に、成人学級の活動報告です。初めに「調布トマトの会」です。2月はプランターでの堆肥化と野菜作り、落葉腐葉土作りを行いました。その後、年間学習計画の担当を確認し、来年度へ向けて話し合いを行いました。3月は年間学習の振り返りと次年度活動計画の話し合いを行いました。

次に、「ゆるりとここから」です。1月は「子どもたちの頭の中が、こんなことになっているなんて！」の朗読と参加者の意見交換を行いました。2月は「つながるBOOK」の朗読と参加者の意見交換を行いました。3月は「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」の解説と参加者の意見交換を行いました。

次に、高齢者教育です。シルバー講座「学んで実践・女性の尿トラブルと予防のエクササイズ」は、シニア世代の女性を対象に、女性特有の尿トラブルがなぜ起こるのか、また、どうしたら予防できるのかを講義と実践で2人の講師から学びました。

参加者からは「市のこういった企画はなかなか参加するのが困難です。外れてしまったり企画がなかったり」「とても参考になりました」など、とても満足したといった感想が多かったです。

家庭教育です。家庭教育講座Ⅲ「0歳児からの、パパといっしょにリトミック」は、育児講座は女性の参加者が多いので、音楽を通じた親子の触れ合いの機会を男性対象に実施することで、男性の育児参加を促進することを目的に開催しました。

参加者からは「体を動かしながら歌を歌ったり、ふだんやりそうでやらないことができ

たので、日常生活でもどんどん取り入れてコミュニケーションを取るきっかけとなりそうです」「同じ境遇のパパさんたちの交流ができてよかった」といった感想が多かったです。

次に、国際理解教育です。国際理解講座「資源でつながるコンゴ民主共和国と私たち」は、コンゴ民主共和国で起きている紛争鉱物問題、スマホなど私たちの身近な電子機器の原料である鉱物が紛争の元になっている問題と、それに伴う紛争下の性暴力問題まで、遠い国の問題として看過できない深刻な問題になっていることを認識してもらうことを目的に開催しました。

参加者からは「鉱物、ヨーロッパの身勝手、内紛、民族、奴隷制度、数々の人の身勝手とその犠牲となったのがコンゴで起こってきていることだと思った」「手元にある電子機器を見ながら、その裏の犠牲を想像しなければいけないと思う」といった感想がありました。

次に、展示会です。企画展Ⅳ「ジャーナリストが見た『コンゴ民主共和国』写真展」は、コンゴ民主共和国の紛争鉱物問題をテーマとした国際理解講座と映画「ムクウェゲ」の上映とお話に関連し、コンゴの現状を捉えたジャーナリストの写真を展示しました。

展示を御覧になった方からは「朝焼けの写真と子どもたちの写真が心に残りました」「どうか平和な日常が戻りますようにと祈ってしまいます」といった感想がありました。

地域連携展示Ⅰ「桐朋女子・作文コンクール『桐華賞』作品展」は、桐朋女子の学内の作文コンクールである桐華賞の入賞作品を展示しました。

展示を御覧になった方からは「毎回この展示を楽しみにしているものです。今回も心が洗われる思いに喜びを感じています」「若い人のみずみずしい感性と豊富な語彙力、豊かな表現力に驚き、また、真摯に自分と向き合う姿に拍手を送ります」といった感想がありました。

地域連携展示Ⅱ「桐朋女子中・高等学校『美術部』展」は、東京都美術館で開催された第68回全日本学生美術展に桐朋女子中・高等学校美術部の生徒さんが出展した作品41点を展示しました。

展示を御覧になった方からは「思春期の心の叫びを感じさせるような作品から中学生らしいほのぼのとした作品まで、若い人たちのみずみずしい感性に触れることができ、大変大きな刺激をもらいました。そして、発想の豊かさにも驚かされました」といった感想がありました。

次に、連携事業です。地域連携事業Ⅹ「スマホのプチお悩み相談～中高生がわかる範囲

でお助けします」は、スマートフォンのちょっとしたお悩みに、中高生が分かる範囲で、ここどうしたらいいのという、ショップに相談するほどではない操作方法の小さな疑問や質問を持つシニアのための講習を、桐朋女子中・高等学校がボランティアグループ「空」と連携して開催しました。

参加者からは「とても丁寧に親切に分かりやすく教えていただきました」「分からなかったことが全て分かりました」「最初に言葉で説明していただいて、その後やっていただいて、最後に私自身がやって覚えるというやり方でよかったです。どの先生も詳しくて丁寧でびっくりしました」といった感想がありました。

地域連携事業Ⅺ「防災講演会～在宅避難のすすめ」は、若葉学校地区協議会と共催で開催し、避難イコール避難所に行くことだけではなく、制限やストレス、感染症のリスク回避など、安心できる在宅がよい分散避難を学ぶための講習会を開催しました。

参加者からは「気がつかないことがあり、準備しておきたい予想外の必要量があった」といった感想がありました。

東京都連携事業Ⅲ「シニア初心者のためのスマートフォン3時間はじめて講習」は、よく分からないから使いたくても使えない、通話なら何とか使っているけれども、それ以外は触っていないなど、60歳以上の市民の方を対象としたスマホ初心者のための講習会を開催しました。電源の入れ方、タップ、スワイプ、ピンチ、文字入力、安心・安全使用の知識等、当日、東京都からアドバイザー4名の方に来ていただきました。

参加者からは「説明がとても分かりやすかった」「講師の方がすぐ来てくださるので、その都度理解できてよかった」「楽しい時間でした」といった感想がありました。

続きまして、会議です。公民館運営審議会第1回定例会を1月23日に開催しております。

次の利用者懇談会Ⅱは、3月9日に第2回を開催し、各サークルの支援について、東部地域文化祭日程と実行委員会の組織体制について話し合いました。

次の東部公民館利用団体連絡会Ⅱは、同じく3月9日に開催され、東利連役員募集について話し合いが行われました。

次の東部公民館利用団体連絡会役員会は、2月17日に開催され、総会資料の確認等について話し合われました。

最後に広報につきまして、「東部公民館だより」1月から3月号、それぞれ各月6,650部発行しております。

東部公民館は以上であります。

○安部委員長　　ありがとうございます。福澤館長。

○福澤西部公民館長　　続きまして、西部公民館です。資料4ページをお願いいたします。

初めに、青少年教育です。子ども体験教室Ⅴとして「すてきな春の和菓子を作って、お茶会を楽しもう」を実施しました。小・中学生を対象に菓子職人から和菓子作りを学び、登録団体の茶道サークルのお茶会を体験する機会として実施いたしました。

参加者からは「初めての体験がたくさんあって、とても面白かった」「お茶の道に一歩近づき、おいしいものを作り、食べられて楽しかった」などの感想をいただきました。

次に、子ども科学教室では「磁石のふしぎ」を全4回で実施しました。講師は、毎年好評の仮説実験授業研究会会員の平林浩さんです。仮説実験授業は、問いに対して仮説を立てて、実験結果を自分で予想し、実験で答えを導くことで科学の面白さを体験しながら学ぶ毎回好評の講座です。今回は磁石に焦点を当てて、自由に体験する楽しさを知る機会となりました。

参加者からは「針金で作ったやじろベネコンパスで方位が分かるのはすごいと思いました」「いろいろな磁石の性質が分かりました」などの感想をいただきました。

次の子どもと大人の天文学教室では、「星の王子様の天文レクチャー」として全2回で実施いたしました。毎年天体の魅力を教えていただきますが、今年の講座や観望での学びに加え、今年は開館40周年記念事業の一環として、国立天文台三鷹キャンパスに出向いて見学などを実施いたしました。

参加者からは「観望で見た『すばる』がとてもきれいだった」「ふだんは入れない三鷹キャンパスの奥に立ち入ることができて、国立天文台の歴史にも触れることができた」などの感想をいただきました。

次は成人教育です。初めに、健康講座では「ズバリ教えます！がんについて知っておきたいこと」を実施しました。がんの基礎知識を学び、検診受診率の向上と健康寿命の延伸、がん患者さんへの理解を深めることを目的として、がん体験者で現在はがん患者のために情報発信などに尽力をしている講師からお話をお聞きいたしました。

参加者からは「がんについて知れたこともよかったです、講師の生き方にもとても感動しました」「検診についても治療法についても自分で正しい情報を得るように気をつけたいです」などの感想をいただきました。

次に、環境講座では「地球沸騰化の時代～この危機をどう乗り越えるのか考えよう」を実施しました。地球沸騰化の時代という言葉がニュースになった現在、現状の正しい理解

をするとともに、各国の温暖化対策や再生可能エネルギーなどについて学び、自分たちに何ができるのかを考えるきっかけとなることを目的に実施いたしました。

参加者からは「CO₂削減が身近に感じられない中、とても貴重なお話でした」「個人が再エネなどについて関心を持つことの必要性を学びました」などの感想をいただきました。

次に、コミュニティカレッジです。「平和はつくれるか～世界と足元を見つめて」をメインテーマに全3回で実施いたしました。講師は、東京外国語大学名誉教授の西谷修さん、同じく東京外国語大学名誉教授の伊勢崎賢治さん、NPO法人クッキングハウス会代表の松浦幸子さんです。なぜ世界で紛争が絶えないのか、紛争を続けているのか、どうしたら平和を構築できるのかなど、専門家から学び、さらに世界を見るだけでなく、調布市内で行われている対話の取組などを紹介する機会を持つことを目的に実施いたしました。

参加者からは「世界の平和にはほど遠いかもしれませんが、足元から自分発信でやることを対話しながらやっついで改めて考えさせられる内容でした」「松浦さんは、話もワークもとても中身が濃く、今後生きる上で大きなものを学びました」などの意見をいただきました。

5ページをお願いいたします。美術史講座です。「スペイン・ポルトガルの世界遺産をめぐる旅」を全2回で実施しました。スペイン・ポルトガルの世界遺産について、講師の解説とともに古代美術に始まるイベリア半島の美術史を学び、見聞を深めることを目的に実施いたしました。両日とも大変豊富な写真を用いて、スペインとポルトガルの美術史と建築を主とした世界遺産を紹介していただきました。

参加者からは「スペインの歴史が分かり、知識が増えて、今後スペインの旅行が面白くなりそうです」「以前、予備知識もなくスペインに行ったことがあります、そのときに歴史の流れを知っていたらもっと興味深く感じられたと思います」などの感想をいただきました。

次に、世界の料理教室として「甘辛酸っぱいが魅力のタイ料理を作ろう」を実施しました。市内でタイ料理店を営むタイ出身の講師から、料理文化だけでなく、生活文化のお話もお聞きしながらタイ料理を学び、異国文化に触れることを目的に実施しました。

参加者からは「タイ料理は初めてだったのですが、楽しく学べ、おいしくいただきました」「初めて参加しましたが、和気あいあいおいしいものを食べられて楽しい会話で満足でした」などの感想をいただきました。

次は成人学級です。成人学級は、それぞれ自分たちで計画を立て学習を行っております。

「ウエストガーデンきらら」は、花壇のメンテナンス、植付けなど、それぞれにテーマを定め、公民館の緑地を活用しながら緑化技術の習得を進めています。この期間、4回の活動を行い、その中で⑩「いのちの楽校」と合同館外学習として、江戸東京たてももの園と水再生センターの見学を実施し、学級の活動目的に関する見分を深めました。

次の「いのちの楽校」は、命を大切にするという大きなテーマを掲げ、幅広い学びを楽しく進めております。⑪記載の「ウエストガーデンきらら」と合同で施設見学を実施したことを含め、この期間に4回の活動を行いました。

次の「まるふおーと」は、子育て、母親の人生をよりよくするという大きなテーマを掲げ、活動しております。今回は館外活動や小児科医を招いての健康講座などの活動をこの期間4回行いました。これからも公民館として成人学級の活動を支援してまいりたいと考えております。

次は高齢者教育です。シニア講座として「もっと知りたい調布の魅力～新たなチャレンジをしている2人に聞こう」を全2回で実施しました。市内でユニークな活動をし、人と人とのつながりをつくり、より豊かなまちにしたいとチャレンジをしている2名にお話を聞き、具体的に知ってもらう機会といたしました。

参加者からは「介護の状況がよく分かりました」「『ふふ富士見』の施設見学ができた、活動の内容を伺って大変満足しました」「2人ともすばらしい活動に感動しました」などの感想をいただきました。

次に、歴史散歩として「ノスタルジーを探しに～東京下町谷中界限めぐり」を開催しました。講師の解説とともに、下町情緒残る谷中かいわいを巡り、様々な歴史と文化に触れ、見聞を深めることを目的に実施いたしました。

参加者からは「歴史のある町並みなどを解説つきで歩くことができてよかった」「講師がいてこそ気がつくこと、分かることがたくさんあった。大変楽しく参加させてもらった」などの意見をいただきました。

次に6ページをお願いします。家庭教育です。家庭教育講座Ⅱとして「子どもが自分の物語を作っていくために～悩みながら見守る知恵」を実施しました。子育てをしていく中で大事なことを、多くの子どもや保護者を支え続けてきた教育心理学の教授である松尾直博さんのお話を聞き、学ぶ機会とするために実施いたしました。

参加者からは「子どものためだけでなく、自分にとっても当てはめることができ、とて

も参考になりました」「少し休みがちな息子のこれからは前向きに働きかけるきっかけをいただきました。考え続けます」などの感想をいただきました。

次に、展示会です。ロビー展として、開館40周年リレー展示をこの期間に2団体行いました。まず、リレー展示⑫「画材は変われど、基本は全てデッサンです」として、登録団体である絵ンジェルの会の会員の作品の展示を実施しました。デッサンを学んできた会員が、その基礎を様々な表現で作品にした30点を展示し、デッサン画の魅力を感じてもらう機会として実施いたしました。

次に、リレー展示⑬として「鹿島学園高等学校調布キャンパスイラストゼミ作品展」を実施しました。本展示は、鹿島学園高校より、イラストゼミ生徒の学習成果の発表を展示したいとの申出があり、一昨年から引き続き約20点の作品を展示いたしました。若い世代の作品を間近に見る機会として貴重な展示であることから、今後も継続していきたいと考えております。

次に、連携事業です。東京都共催事業として、シニア向けスマートフォン体験会と相談会を8月に引き続き実施いたしました。体験会は、午前と午後に分かれ、文字入力やインターネットの接続方法などを体験しました。また、相談会は、30分の制限で相談者一人一人の疑問や質問にできる限り答える内容で実施いたしました。限られた時間ではありますが、参加者の疑問はおおむね解消できた様子であり、満足度も高いと考えております。今後もスマホサポートの事業は需要が高まると思われることから、機会を捉まえて実施したいと考えております。

次に、団体支援です。サークル体験Ⅹとして、登録団体「手編みサークルRAM」が「かぎ針で編む 冬のリバーシブルニット帽」を2回実施しました。これは12月に実施したときの落選者を対象に追加で行いました。温かな手編みのニット帽を作ることにより、手編みの楽しさを知ってもらうとともに、新規会員の獲得につなげることを目的に実施いたしました。参加者は2回合計で12名となり、新規に会員となった方が1名いらっしゃいました。

次に、サークル体験Ⅺとして、登録団体の「宮の下囲碁同好会」が「囲碁サークル会員との対局を楽しもう」を実施しました。当日参加者は3人でしたが、和やかな雰囲気の中で体験ができました。まだ入会には至っていませんが、「今後も来てみたい」と前向きな感想を2人の方からいただいております。

次に、会議です。西部公民館利用団体連絡会の館外研修が実施されました。世界遺産の

富岡製糸場などの見学をしました。参加は22団体で実施いたしました。

最後に、広報です。「西部公民館だより」令和6年1月号から3月号まで各6,200部発行いたしました。

西部公民館の説明は以上です。

○安部委員長　　ありがとうございます。小野館長。

○小野北部公民館長　　続きまして、北部公民館です。7ページをお願いします。

初めに、青少年教育です。子どもアニメーション映画会として、「子どもアニメーションスペシャル2024～切り絵や人形などのレトロアニメを楽しもう！～」を3月2日に実施し、8作品を上映しました。両親と子どもの参加が5組で、父親と子どもの参加が2組いました。幼児向けコースの作品「しろいぞう」などは、大人も子どもも涙する方々がいました。

続いて、成人教育です。文化講演会「新一万円札発行記念 幕末明治を生きた『渋沢栄一』を深掘りする」です。渋沢栄一は、農民だが裕福な家で育ち、教育を受け、一橋家の家臣とつながり武士となるなど、チャンスを物にしました。また、自分の得意とする財政で様々な政策を企画し実施し、パリ万博使節としてフランスに渡り、そこでの見聞が明治以降の活動に大きな影響を与えました。今も困難がある現代で生きる私たちも、渋沢栄一のようにチャンスを生かし邁進し、今意味があるのか分からないことでも、いつか役立つことがあると信じて、目の前のことに真剣に取り組むことが大事ではないかという講師のまとめで講演会は終了しました。

続いてその下、市民の暮らし講座「世界に一つの人生と歴史を綴る『聞き書き』ボランティア」です。聞き書きボランティアは、語り手が話したいことを聞いて、語り手の話し言葉で文章を起こし、手作りの冊子にして語り手へプレゼントする活動です。初日に話の聞き方や書き方を学び、2日目にゲストスピーカーを迎えて聞き書きの実習をしました。最終日には、参加者が作品のタイトルを発表し、製本の仕方を学びました。

続きまして、その下の市民の暮らし講座Ⅱ「天文学入門 最新宇宙科学～調布から宇宙の果てまで旅をしよう！～」では、東京大学特任准教授の高梨直紘さんを講師に迎えて、壁いっぱい映し出した国立天文台が開発した宇宙シミュレーターを見ながら、最新の宇宙科学を学びました。

参加者からは「分かりやすい説明でよく理解できた」「宇宙のこと、星のことをもっと知りたいという好奇心が湧いてきました」という感想をいただきました。

続きまして、その下の映画講座「映画をもっと豊かに楽しもう！～ワンシーン徹底読み解き～」です。5本の映画の15分ほどのワンシーンを見てから、講師と参加者で映画の読み解きをしました。役者の視線や行動にどのようなメッセージがあるのかなどを探りました。

続きまして、その下の文化教室Ⅰ「初心者のための囲碁入門教室」です。女流アマチュア棋士の先生が指導し、基本的なルール、ゲーム開始から終了までの流れを学び、最終的には本物の囲碁盤で対戦できるレベルとなりました。対局を重ねると横のつながりが形成され、お互いの顔と名前が分かるようになりました。今年度4月から実施する初級者向けの囲碁教室に今回の初心者向けの教室の参加者のうち8割の方が参加しています。また、3月に自主サークルとしての活動へ向けた打合せを行いました。今後もサークル化に向けて支援を継続してまいります。

続けて、その下の成人学級です。初めは「サステナブルを学ぶ会」です。3月9日に公開講座「上手なプラスチックとの付き合い方～使い捨てを考える～」を実施しました。日本や調布市のプラスチックリサイクルの現状や課題、関係法令などを学び、プラスチック削減を促進する方法を学びました。

続いて8ページをお願いいたします。成人学級「Multicultural Study Group」です。料理を通して韓国の文化を学びました。

続きまして、その下、コンサート「北の杜アコースティックライブ～春です、昭和歌謡を聴きに来ない？～」です。公民館主催の音楽系事業講師のボーカルとピアノのライブで、公民館利用者の新規拡大を図る目的で日曜日の午後5時から実施しました。「愛のメモリー」や「また逢う日まで」など、昭和歌謡の生のピアノ伴奏は、豪華に昭和歌謡の趣を醸し出し、参加者からは「とても満足できた」という感想がありました。

続きまして、高齢者教育です。いきいき講座Ⅱ「転ばない体をつくろう！かんたんロコモ体操」です。自宅の椅子でできる運動やストレッチを学びました。また、水分は大量ではなく小まめに取ることなど、健康と生活における注意点などの説明がありました。

続きまして、展示会です。「小学生書初め展」です。健全育成推進上ノ原地区委員会主催による書き初め大会に参加した児童の書道作品64点を展示いたしました。

その下、絵画サークルの「画塾北社会」と折り紙サークルの「紙遊びの会」によるコラボ展示です。

その下の展示は、「『知りたい！』が未来をつくる『科学道100冊』図書展2024」です。

図書館神代分館から科学に関する本を108冊借りて展示いたしました。

その下の「子どもたちに伝えたい 東京大空襲紙芝居展」と、その下の「ちょうふピースメッセンジャー2023・ちょうふピースメッセンジャージュニア2023展」を同時に3月1日から3月20日まで開催いたしました。

続きまして、連携事業です。地域連携事業Ⅶ「北の杜地下鉄の音楽フェスvol. 4～どんな演奏でもIT is good! (イイネ)～」では、ギター、尺八、フルートなど様々な楽器の演奏がありました。

その下の地域連携事業Ⅷでは、調布消防署深大寺出張所、調布消防団第10分団、調布市総合防災安全課と連携し、上ノ原まちづくりの会との共同企画による体験型の防災イベント「みんな集まれ! 北の杜防災フェア2024」を実施しました。暗闇体験、家具転倒防止グッズ、防災用トイレの展示、アルファ米の試食に幼児、未就学児、小学生などの子ども連れ家族が多数参加し、自治会の役員やマンション管理組合の方も見学に来て、自分たちで同様の防災イベントを実施できないか考えていました。後日、自治会の会長が防災イベント実施の相談のために来館し、10月20日に自治会独自の防災イベントを北部公民館で実施する予定になっております。

次の東京都共催事業Ⅴは、「シニアのためのスマートフォン体験会」です。17人の参加者が文字入力やメールなどの基本操作を学びました。

続いて、団体支援です。共催事業Ⅴ「北部公民館利用団体連絡会『ワンコイン絵画体験～冬景色を描いてみよう～』」は、サークル活動の活性化や会員の増員を目的に、北部公民館利用団体連絡会の北の杜地下室の音楽フェスと同日に実施しました。サークルに入会した方が1名、入会を考えている方が1名という実施結果が出ました。

続きまして、1つ下の共催事業Ⅵ「北部公民館利用団体連絡会『ワンコイン折り紙体験～ひな飾りを作ろう～』」です。定員を超える申込みがありました。完成した作品は、絵画と折り紙のコラボ展示に展示いたしました。

続きまして、1つ下の共催事業Ⅶは、公民館団体登録を目指して活動している「よみきかせサークルメンバー」による「科学の絵本のよみきかせ」です。

続きまして、会議です。北部公民館利用団体連絡会役員会を1月6日、2月10日、3月23日に開催し、令和6年度の総会の準備や北利連会報の内容確認などを行いました。

次の北部公民館利用団体陶芸サークル連絡会では、令和6年度の陶芸窯の使用予定について協議いたしました。

最後の広報は、「北の杜通信」1月号から3月号まで毎月5,500部発行いたしました。

北部公民館からの説明は以上でございます。

○安部委員長　ありがとうございます。それでは、調布市公民館事業報告（1月～3月分）について、御質問等ございませんでしょうか。盛りだくさんの事業報告でしたけれども、いかがですか。はい、八田副委員長。

○八田副委員長　委員長のお話しのとおり盛りだくさんで各事業が実施されていて、昨年来、コロナが明けて活動が非常に活発になっているというのが感想です。その中で、東部公民館さんと北部さんの中では、地区協議会の皆さんと連携をしたり、地域との連携という連携事業が見て取れていますので、西部公民館さんも、多分地域と連携されて事業展開されていると思いますけれども、3館連携をしながら地域全体の事業、例えば防災の関係だとか、地域と連携した事業が展開できるだろうと思いますので、ぜひともやっていただければと思います。それが1点。

それと、東部公民館さんからの報告の中で、これは提案なのですがけれども、1ページ目の青少年教育の中にファミリーコンサートがあって、定員を上回る実施内容だったと思います。ですので、募集をする段階でもう少し弾力化を図って募集をかけていくと、よりいいのではないかと思う内容でありまして、同様にその2行下、東部公民館の市民講座の中でも20人の定員としていたところ、少し多く受けてくれています。これらを含めて、より弾力的に講座を展開されるように工夫いただくといいのではないかと思いますので、よろしくをお願いします。

自分からは以上です。

○安部委員長　ありがとうございます。ほかにございませんか。石井委員。

○石井委員　北部公民館の7ページのところ、市民の暮らし講座Ⅱ「天文学入門」がありまして、これが定員40に対して申込人数が76、実際は31なのです。興味のあることで76人も申し込んで、実際は31人しか参加しなかった。これは何か。

○安部委員長　小野館長。

○小野北部公民館長　この講座、子どもが11名という形で、あとは大人の方だったのですがけれども、年齢も70歳までと幅広く参加されて、高齢の方や小学生で当日にキャンセルした方がやや多くいたような状況でありました。

○安部委員長　よろしいですか。

○石井委員　分かりました。せっかく興味のある内容なので、ちょっともったいないと

思いました。

○安部委員長　　なかなか当日キャンセルは何とも言い難いものがありますよね。ほかに
ございませんか。稲留委員。

○稲留委員　　4 ページですけれども、西部公民館さんの一番下、コミュニティカレッジ
「平和は本当につくれるのか～憲法9条と日米同盟」というタイトルなのですが、この辺
は政治的にも微妙なところがあって、いろいろな反対意見もあるわけですけれども、どの
ようなお話だったのでしょうか。

○安部委員長　　福澤館長。

○福澤西部公民館長　　3人の先生がいらっしゃって、対パレスチナの戦争の問題や憲法
9条、日米同盟のこと、あと1つは心の居場所づくりという全く内容を変えて実施しまし
た。憲法9条と今の日本の状況を具体的にお話しされたところなのですけれども、憲法9
条がいいとか悪いとか、そういうことではなくて、憲法9条に照らし合わせた現状、今日
本はどのようになっているか、今後どのようにしたらいいのかということをお話しされた
と理解しております。

以上です。

○稲留委員　　今後どのようにしたらいいのかというのは、どのようなことを言っておら
れましたか。

○福澤西部公民館長　　今そこまでの資料を持っていないのですけれども、今の日本の問
題点を抽出して、それを解決するためのものだということのように理解しております。

以上です。

○稲留委員　　ありがとうございました。

○安部委員長　　ほかにございませんか。清水委員。

○清水委員　　先ほどから委員の方もおっしゃっている定員に対する申込みが超過した場
合の事業なのですけれども、公民館が主体として開催するものと利用団体が主体として開
催するものがあると思うのですが、公民館主体として開催した先ほどの「0歳児から楽し
める音楽会」とかというのは、例えば会場を変えて、桐朋をお借りするですとか、会場を
もっと広いものにして開催する。東部公民館でやらなければならないということでもない
のではないかと思うのですけれども、出前講座ではないですが、会場を変えて定員をカバ
ーするという考え方についてのお答えをいただきたいのが1点。

利用団体が主体で開催するものを恐らくこの中では団体支援とされているかと思うので

すけれども、先ほどのお話の中で、かぎ針か何かの編み物の教室は、定員を上回る申込みがあったので、落選した方を救済するためにもう一回開催を検討されて、実施されて全部救済をしたと。そのような超過した場合の救済策について、どのような考え方で進められているのか。団体支援のほうは、特に登録人数を増やすためには、これは本当にしっかりと支援していかなければならないと思うのですけれども、一方で、公民館主体として開催したものの定員は、申込みが超過した場合は見た感じ切られてしまっているわけですよね。この辺りの考え方について教えていただければと思います。

○安部委員長 丸山館長。

○丸山東部公民館長 まずは公民館主体の話をさせていただければと思うのですが、今、清水委員におっしゃっていただいた会場を変えてというのは、非常にいいことなのではないかと、考えます。例えば、連携している桐朋さんとは、音楽だけではなくて美術の関係も連携を図っていますので、ぜひ協力いただきたいと言ってもいいのかなと思っています。

次に、定員の考え方なのですけれども、申込人数が定員オーバーしても、定員できっちり区切るわけではなくて、例えば、ファミリーコンサートでは、申込人数が定員枠を超えた部分も何とか参加できるような工夫を今までもしてきたのかなと思っています。募集時にある程度申込人数の枠はあるものの会場を変えていくことについては、検討する余地は十分あると認識しています。貴重な御意見だと思って前向きに検討していければと思っています。

○安部委員長 福澤館長。

○福澤西部公民館長 利用団体の支援ということで、手編みサークルRAMさんを例に出していただきました。体験教室というのは、サークルの人数を増やすことが1つの目的でありますので、実施したいということはあるのですけれども、対応できる人が何人いるかというのは限られてしまうので、やはり回数を増やすしかない。ただ、回数を増やすにも、先生やサークルの状況でなかなか増やせないところはあるのですけれども、こういう形でなるべく複数回やること、あとはそのとき来た方を時間で分けて定員を少し増やすとか、そういう努力はして、なるべく多くの方に体験をしてもらう努力をしています。なるべく1人でも多くの方に入っていただく、興味を持っていただくことを目的に今後も実施したいと思っています。

以上です。

○安部委員長 ありがとうございます。ほかにございませんか。大槻副委員長。

○大槻副委員長　これは質問ではなく意見というように取ってください。今までの皆さんと大体同じような意味で意見しようと思っていましたが、東の場合には桐朋があります。桐朋で美術部の展示会も、先ほどのコンクールもやっている中で、連携事業のほうでシニア向けというので、これは学校のボランティアグループがやっています。たまたま東には桐朋があるわけなのですけれども、そのような学校にこだわるわけではないのですが、西部さんも北部さんも管轄にある学校等、ボランティア団体とかあると思いますので、そのような形とのつながりというのも考えて拡大していったほうがいいかなと。これは意見です。

○安部委員長　ありがとうございます。ほかにございませんか。稲留委員。

○稲留委員　個々の話ではないのですけれども、私はいつも思っているのですが、本当に少ないスタッフ人数でかなり大きなメニューをこなしておられて、いつも頭の下がる思いがしております。今後も考慮して事業にあたっただけたらと思います。本当にいつも御苦労さまです。

○安部委員長　栗原委員。

○栗原委員　ちょっと教えていただきたいのですけれども、地域連携展示、例えば近くに学校があるところは当然そういう機会に恵まれていると思うのですが、その場合、学校側が展示場所を探していて、たまたま空いていたので公民館に貸してくださいと貸す場合の展示と、こちらから学校へ言って、今度やりませんかどうですかと。結果的には同じなのですけれども、そこに働きかけがあるかないかで連携というのは変わってくると思うのですが、評価的には同じわけですね。

2つのパターンであっても、結果的にそこで開催されることは同じなのですけれども、うまく言えないですが、たまたま貸したのが連携になるのか、それとも毎年そういうのをやっていけば、それも連携になるのかという。

○安部委員長　具体的に公民館のほうで働きかけているかどうかということをお聞きになりたい？

○栗原委員　そうですね。

○安部委員長　だそうです。では、丸山館長。

○丸山東部公民館長　両方から連携を図るということについては結果的には同じだと思っております。学校、先生方とも良好な関係を持っているところもありますので、ウィン・ウィンで開催場所の対応をしているというところもあるのではないかと考えています。

私自身が社会教育における公民館の存在、どういう活用ができるのかというのを改めて認識しているところであるので、そこについては桐朋だけではなくて、白百合とも連携していますし、ほかの学校とも連携を図ったりとか、その活用方法をさらに周知しながら、同じ歩幅で行けるような体制を整えていきたいと思っております。

ただ、稲留委員もおっしゃったとおり、各公民館においては、いわゆるマンパワーといふか専門員の人に限られている中で、少ない人材でどれだけできるのかは今後も検討していきたいというところも1つ要素としてはあります。

以上です。

○安部委員長 福澤館長。

○福澤西部公民館長 西部公民館では、展示させてほしいという形であれば、今回の1月から3月に載っている鹿島学園は、そういう形で来ました。調布に学校がありまして、展示する場所を探していたということが最初のきっかけだと聞いております。そういう形で来るのは、西部の場合、どちらかというとな少ない。こちらから言ってしまうと、地域文化祭をきっかけに、明大明治等は展示をしていますし、あとは階段アートだとか中の壁画だとか、そういうところを近くの第五中学校と調布中学校にお願いしたり、近くの保育園に入り口の飾り、あとは地域の地区協だとか自治会だとか、そういう方にも地域文化祭ではしていただいて、それをきっかけに展示の話だとか次の話をしているような形です。でするので、どちらかというとな、こちらからアクションしているほうが多いのが現状です。

以上です。

○安部委員長 小野館長。

○小野北部公民館長 北部公民館も、やはり西部公民館と同じで、こちらからアプローチして展示をお願いしているような状況でございます。具体的には、地域文化祭におきまして、晃華学園の美術部と神代中学校の美術部、それぞれの美術部に生徒の作品の展示をお願いして実施しているような状況でございます。

以上です。

○安部委員長 ありがとうございます。私、鹿島学園と初めて聞いて調べたら、通信制の学校なのですね。

○福澤西部公民館長 そうですね。

○安部委員長 なので、それはあちらからの提案を受けてくださったというのは、すごくいいことではないかと思えます。多分、市民の方々も通信制の高校はあまり御存じない

と思うので、いい企画だったのではないかと思います。ありがとうございます。ほかにご
ざいせんか。粕谷委員は大丈夫ですか。

○粕谷委員　大丈夫です。

○安部委員長　澤田委員、いかがですか。

○澤田委員　いいです。

○安部委員長　それでは、一旦こちらのほうは終了いたしまして、次に、令和5年度公
民館事業ということで、報告をお願いいたします。

○丸山東部公民館長　それでは、資料6を御覧ください。令和5年度調布市公民館事業
報告（令和5年度分）になります。御説明をいたします。一部、先ほどの1月から3月分
についての説明と重複する部分があると思いますが、御容赦いただければと思います。

1ページをお願いいたします。東部、西部、北部公民館事業の総括となります。令和5
年度は、各館、調布市公民館事業計画に基づき、青少年教育、成人教育、高齢者教育、家
庭教育、国際理解教育の5つの学習分野を主軸に、市民の学習ニーズに応える事業、地域
団体との連携事業、地域の魅力をテーマとした事業などを実施したほか、展示会、地域文
化祭、公民館登録団体との共催事業などを実施しました。また、各種会議の開催とともに
公民館広報誌を毎月発行しております。

なお、西部公民館は開館40周年の記念事業を実施しました。

次に、2ページをお願いいたします。令和5年度における東部公民館の事業報告となり
ます。

初めに、青少年教育です。前年度に引き続き「思考力を高める！子どもの囲碁教室」
「ゼンタングル体験～ぐるぐる・集中・すっきり」などの東部ジュニア教室に加え、赤ち
ゃんも参加できるファミリーコンサートを開催しました。

次の成人教育は、3ページから6ページまでに及びますが、講演会、体験教室、地域に
関する各講座や芸術鑑賞講座、歴史講座などを実施しました。

次に、7ページの高齢者教育です。「切り絵の基本と実践」のシルバー教室や「学んで
実践・女性の尿トラブルと予防のエクササイズ」などのシルバー講座を開催しました。

次に、下段の家庭教育は8ページまで続きますが、家族の会話から磨かれる子どもの力
などの講座を開催するとともに、夏休みイベントを実施しました。

次に、国際理解教育では、大学教授及びNPO法人の協力の下、「資源でつながるコン
ゴ民主共和国と私たち」というテーマで講座を開催しました。

次に、展示会です。東部公民館において登録している団体などのサークル展、企画展のほか、桐朋女子中・高等学校の活動を地域連携展示として開催しました。

次に、10ページの市民文化祭をお願いします。利用団体の学習成果の発表と地域交流を目的に東部地域文化祭を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の分類が変更となったため、制限がない開催とし、参加者及び地域の連帯をより深めました。

最後に11ページ下段の連携事業です。隣接する東部児童館、桐朋学園女子中・高等学校などと多くの事業を開催しました。

東部公民館は以上です。

○安部委員長 福澤館長。

○福澤西部公民館長 続きまして、西部公民館です。

西部公民館においては、令和5年度に開館40周年を迎え、例年実施している事業や展示をレベルアップしての実施をはじめ、記念セレモニーやトークイベントなど、多くの記念事業を実施した1年となりました。

それでは、18ページをお願いいたします。青少年教育では、子どもが興味のあることを、交流を図りながら学習する講座として、体験教室Ⅰの「かがくじっけんで『もくもく』しちゃおう」や体験教室Ⅴの「すてきな春の和菓子を作って、お茶会を楽しもう」などを実施しました。

次の19ページの成人教育では、現代社会や地域の課題に連携する講座として、3つ目の環境講座「地球沸騰化の時代～この危機をどう乗り越えるのか考えよう」を、3つ下の40周年記念コンサート「西部公民館開館40周年 音楽講座スペシャルレクチャーコンサート～のチェロに魅せられて」を、次の20ページでは、2つ目の美術史講座として「スペイン・ポルトガルの世界遺産をめぐる旅」を、3つ下の体験教室Ⅰとして「繭玉から作ってみよう～『まゆの花』」を、また、最下段から22ページ上段まで成人学級の実施内容を、そして、その次の平和フェスティバルと様々な分野の講座を実施いたしました。

次の高齢者教育では、シニアを対象に、高齢者になっても地域の中で健康で生き生きと暮らすための講座としてシニア健康講座などを実施いたしました。

次に、23ページの家庭教育では、3つ目の子育てセミナーとして、「仲間と出会い、子どもと自分を育てよう」をテーマに、子育ての不安や悩みの軽減、地域での仲間づくりの一助となるような講座を全15回で実施いたしました。

次に、24ページの国際理解教育では、中国のコロナ後の動向と日本との関係など、その

時期を捉えた講座を実施し、その下の展示会では、開館40周年リレー展示を13回実施しました。

次に、25ページの市民文化祭では、展示やくつろぎコンサートを中心とした西部地域文化祭を実施いたしました。今年度から料理サークルによる食事の提供も復活することができました。

次に、連携事業ですが、東京都と共催してのスマートフォンの相談会などを実施し、27ページでは、団体支援としてサークル体験教室を、28ページの会議では、利用団懇談会や西部公民館利用団体連絡会などを実施いたしました。

西部公民館からは以上です。

○安部委員長 小野館長、お願いします。

○小野北部公民館長 続いて、北部公民館です。

初めに青少年教育です。30ページをお願いいたします。ガラスのおうちの小物入れや冬のオーナメントを親子で体験する親子工作教室を実施しました。

資料中段になります。自分の好きな動物を作る子ども陶芸教室、また、資料最下段の子ども科学教室では、イワシを解剖して人と同じ脳、心臓などを探し、ちりめんじゃこの中からタコ、イカなどを探し、生物多様性を親子で学ぶ教室を実施いたしました。

続きまして、成人教育です。31ページ中段をお願いいたします。歴史講座Ⅱでは「『徳川家康』徹底解説」を実施し、徳川家康の生涯と天下統一を果たした数々の戦について知り、日本の歴史の学びを深め、生涯学習意欲を促進しました。

続いて、ページ飛びまして34ページをお願いいたします。下から2つ目、平和事業Ⅰでは「子どもたちに伝えたい！手作り紙芝居『東京大空襲』を鑑賞しよう」を実施し、公民会登録団体「自分史の会」の手作りの紙芝居の絵をパワーポイントで映し出すとともに、講師の持参した焼夷弾や郷土博物館から借用した防災頭巾など、実物を手に取ってもらい、戦時中の生活を体感いたしました。

続いて、家庭教育事業です。35ページ中段をお願いいたします。「原因不明の体調不良で通学できない。そんな困ったを知ろう！～起立性調節障害のお話し～」を実施いたしました。神代中学校の学区域を中心に活動している起立性調節障害者親の会「てのひらドロップス」との共同企画で実施した講座です。

続いて、展示会です。37ページをお開きください。上から2つ目「『知りたい！』が未来をつくる『科学道100冊』図書展2024」では、日本を代表する科学者が選んだ科学の本

を100冊展示いたしました。

続きまして、その下、市民文化祭です。北部地域文化祭では、資料に記載はございませんが、10月29日に小学6年生までの児童を対象にしたポニーの乗馬体験を実施し、300人が参加いたしました。

続いて、連携事業です。ページ飛びまして39ページをお願いいたします。中段の地域連携事業Ⅷでは、調布消防署、調布消防団、調布市総合防災安全課と連携し、上ノ原まちづくりの会との共同企画による体験型防災イベント「みんな集まれ！北の杜防災フェア2024」を実施いたしました。

北部公民館からの説明は以上でございます。

○安部委員長　ありがとうございます。それでは、皆さんから御質問、御意見等お願いいたします。清水委員。

○清水委員　御説明ありがとうございます。令和5年度事業報告の1ページ目の総括の中に、東部公民館ではエレベーターを設置し利用者の便に帰するよう努めたという記載がございます。この先の改修ですとか修繕の予定は、令和6年度にはあるかないかというところがこの資料では知ることができないわけなのですけれども、例えば北部公民館の利用者懇談会の中では、改修工事についてということでお話をされているらしいという感じなのですが、何かありましたら教えていただきたいのと、恐らく3月の予算の中で6年度の改修ですとか修繕が決まってきたと思うので、この時期の公民館運営審議会では、そのような次年度の修繕の予定を委員の皆様にもお知らせしたほうがよろしいのではないかと私は思いますが、お聞かせいただければと思います。

○安部委員長　ありがとうございます。丸山館長。

○丸山東部公民館長　東部公民館においては、令和6年度予算の中で、館内における空調設備をすべて入替えになります。これは公共施設マネジメント計画に組み込まれたもので、2,000万円少しの予算をいただいております。それに加えて、和室の畳を全て入れ直すという予算が入っております。6年度の予算においては、一応その2つは計画しております。

○安部委員長　すみません、来年が50周年ではないですか。それに向けての準備はどのような感じですか。

○丸山東部公民館長　ベテランの職員を中心に、例えば、せんがわ劇場の予約を取ったりとか、令和7年度に向けて少し動き始めている部分はあります。

○安部委員長 記念誌の発行に向けても動かれていますか。

○丸山東部公民館長 そうですね。そちらのところは、まだ具体的な動きはありませんけれども、50周年誌は作らねばいけないと理解しています。

○安部委員長 せっかく西部公民館も作られているのですけれども、予算確保していなかったために、中川さんの絵ももうちょっといい紙でされるといいのかなとかと思ったのです。ありがとうございます。

○清水委員 いろいろ予算が出てくる時期ですので、何か新しいことがあったらぜひ報告を。

○安部委員長 そうですね。西部のほうから。福澤館長。

○福澤西部公民館長 西部公民館は、6年度に大きな工事はございません。5年度には給排水衛生の工事を公共施設マネジメント計画に基づいて工事を行いました。併せて、学習室の1つ、防音がある部屋なのですけれども、そちらの床を全部張り替えて、壁を塗り替えたりしまして、相当きれいになりました。その関係でシックハウスの検査をしなければいけないので、工事自体は1週間程度だったのですけれども、シックハウスの前と後の関係があるので、1か月止めて工事をやりました。

そして、給排水衛生関係ではトイレの工事を行いました。男女のトイレは全体的にすごくきれいになって、今まで要求していた手を洗うところが自動になりました。あと、おむつ替えシートが男女とも仮設だったのを本設できちんとつけて、動かないような形にしました。あと、電気をトイレとトイレの廊下をLED化しました。あと、多機能トイレを全て替えて、そこにはオストメイトをつけました。新しくその機能をつけて実施しています。

あとは湯沸かし室の配管等を替えたり、調理室の給湯設備や配管を替えたりしております。

今後の計画については、公共施設マネジメント計画では、令和8年に電気系の工事が予定されておりますので、ここの北部みたいにLEDにしたいと。今はまだ蛍光管を使っておりますので、全てLEDにして、電気の省エネ化を図ってまいりたいと思っております。

以上です。

○安部委員長 ありがとうございます。小野館長。

○小野北部公民館長 北部公民館も6年度については大きな改修工事等はありませんが、5年度中に大きな改修工事がありました。5年度につきましては、利用者懇談会で利用者

に説明をし、外壁の改修工事を実施し、雨漏りの解消に努めた次第でございます。

また、長年懸案になっていた防火シャッターの不具合については、火事の際に作動しますが、それから復旧できないという不具合がありました。令和5年度の予算で修繕を実施いたしました。また、美術室の大きな窓ガラスにひび割れがありました。改修するなど、令和5年度中に改修が必要な施設の工事を実施したので、6年度については、今のところ大きな工事は予定していない状況です。

○安部委員長　ありがとうございます。ほかにございませんか。大槻副委員長。

○大槻副委員長　皆さんの意見にまたつなげていきますが、今回はこちらのほうでいくと西部さん、今、東部さんも。これ全部3つ混ざってくると思うのですが、周年事業という形で必ず生まれてくると思うのです。そういったときに見ていけば、実行委員会ができているという形。これは本当に大事だと思うのです。それをまず持っていくということ、その目的を今度もっと広げるためにPRですね。拡大するために、関係各諸団体誰でもいいというわけではなく、市内だけでもいろいろな角度からいろいろな諸団体がかなりあります。全部にかければいいというのではないのですが、少しでもつなげて、3つの今の調布市の公民館をどんどん広げていく、つなげていくという意味でPRに持って行って、例年の周年事業をしっかりこなしていただきたいと思います。

○安部委員長　ありがとうございます。八田副委員長。

○八田副委員長　令和5年度の活動報告をいただいて、先ほど稲留委員からもありましたとおり、少ない人数でよく頑張っておられるので、そこでさらに提案なのですけれども、北部公民館の平和事業で郷土博物館との連携で実施した内容があつて、これはまさに教育部の中で連携をしてやっています。年度の事業なので、もう既にカリキュラムを組んでおられるかもしれませんが、西部公民館も東部公民館もリレー方式で、こういった内容に関しては動画配信もできるかもしれませんが、平和を考える内容に関しては地域のつながりで、ぜひ展開できるように工夫をするというのを併せて提案しておきます。

あと、西部さんのほうで、報告書の26ページに先ほども触れました連携事業があつて、東部公民館さんと北部公民館さんと地域の活動の内容が異なるので、連携事業というくくりが西部は少し難しいのだろうと思いますが、東京都との連携事業4事業しかここに出ないのですよね。地域との連携事業というのは、組合せでできなくはないのだろうと思います。先ほどの通信教育の学校との連携だとか、くくり方の問題かなとも思いますから、ぜひ工夫をされるというのではないかなと思いますので、よろしくをお願いします。

自分からは以上です。

○安部委員長 福澤館長。

○福澤西部公民館長 連携事業ということで、特に地域ということだと、自治会等の連携で、今年は文化祭のときに連携事業を行ったのですけれども、現在は、成人学級「いのちの楽校」となっており、ちょっと見えにくいところがあるのですが、中心となるのは自治会の方です。そちら防災についての教室だとか、あと煙ハウスを持ってきてやったりだとか、そういう形でいろいろと防災についての連携は行っております。やはり地域の方とのつながりは西部公民館も強いので、そこら辺とのやり取りはよくやっております。

ただ、連携事業というくくり、副委員長からも今お話しあったとおり、くくり方ということになると、ちょっとこの書き方になってしまうのですけれども、西部の場合、こういう形で成人学級のほうと入って連携した形が多かったので、そのような書き方になってしまいました。また新たにいろいろと考えながらやっていきたいと思っております。

○八田副委員長 今いただいたとおり、活動はされておられるので、例えば再掲という表現をして、こちらにも表現するような形を取るとよろしいのではないかと思います。活動は活動で盛んにおやりになっておられるので、報告書をうまく工夫するとよろしいのではないかと思いますので、よろしくお願いします。

○安部委員長 今後残るものですし、また次の50周年のときにも必要になってくる報告書になると思うので、今の御意見を参考にして、よろしく願いいたします。ほかにご意見ありませんか。御意見、御要望、今年度に向けて。栗原委員。

○栗原委員 広報誌の関係で、例えば市報と「ぱれっと」だったかな、毎月入っているのですよね。聞いてみると全戸配付という形で12万3,033世帯あるらしいのですけれども、そこへ配られているのです。広報誌もできるだけ、年1回ぐらいは全戸配付をやったらいのではないかなと。

というのは、去年1月に自分のサークルで絵画の展示をやったのです。その際アンケートで、この催しを何で知りましたかという項目があって、市報、口コミ、それから広報誌と3つあったのだけれども、高齢者に関しては広報誌で知ったという方は残念ながら1人もいなかった。それを考えてみますと、今の広報誌というのは、小学校、中学校を中心に配っているから、高齢者には行っていないのかなということ、悲しいのですけれども、現実には今、サークル活動は高齢者が担っているような状態だから、高齢者にもっと公民館の活動を知ってもらいたい。そうすれば、潜在的な利用者が増えるのではないかと思います。

わけです。1年に1回ぐらいだったら全戸配付も可能かなと。

今、世帯が12万ぐらいで、現在の広報誌の発行が1万4,800ぐらいだから、これの6倍の数があれば全戸に配付できるかなと。そんなに負担にはならないと思うのです。1年に1回、公民館をもっと知ってもらうための臨時増刊号みたいなのを全戸配付したらいいのではないかと。予算の関係もいろいろあると思うのですけれども、検討していただきたいという要望です。

○安部委員長　いつも広報誌のことは、公運審の中で出てきている話なのですけれども、今の御意見も参考にさせていただければと思いますが、予算の関係があるので、今年度や来年度は難しいかもしれません。館長、ありますか。

○丸山東部公民館長　東部公民館だけの話になりますけれども、今、配付をしているのは小・中学校の児童・生徒にお渡ししています。児童・生徒を通じて親御さんの元に届いていると認識しておりますが、なかなか難しいのかもしれませんが。各学校においても、必要以上のものは今、配付をしないという形の体制となっておりますが、お願いした中で配付させてもらっているところです。

加えて、配付先は、関係各課の部署及び各地域福祉センター、郷土博物館、実篤記念館など市内の公共施設と言われているところには必ず配付をしており、時に、市内9駅のラックにて周知活動に努めているところであります。

今後は、年1回の全戸配付というご意見はありながら、ホームページだけではなくてXやインスタグラム等々で発信をしていければと思っているところです。

以上です。

○八田副委員長　1点。今の内容の中で、御提案いただいた全戸配付の工夫の話なのですけれども、全戸配付をされている市報がありますよね。市報を見たときに、たしか2月号辺りだったでしょうか、お風呂屋さんの特集がありました。見開きで1ページ目、2ページ目、3ページ目と御案内がありました。公民館の活動、3館の事業に少し日の目を当てるのだとして、これは広報のほうと協議をする話なので、銭湯でできて公民館でできないことはないと思いますから、工夫をすることだと思います。

年1回取ろうではないかと考えると、文化祭だとかは掲載がありますよね。ですから、公民館の事業をどこの時期に照らすかというのはありますけれども、そこは工夫の余地だと思います。あとは「ちょうふの教育」というまさに教育の通信もありますので、今御提案がありましたから、それらをぜひ参考にしてお取り組まれるといいと思いますので、よろ

しく願います。

○安部委員長 清水委員。

○清水委員 八田さんと同じなのですけれども、栗原さんがおっしゃっていたように、市報は皆さん御覧になっているということなので、今まで公民館3館の特集を市報で組まれたことがあるかどうかということをもとに調べていただいた上で広報課と調整していただいて、そういう取組が今までなかったのであれば、ぜひ取り組んでいただきたいと思えます。

以上です。

○丸山東部公民館長 ありがとうございます。

○安部委員長 ぜひ善処していただきまして、よろしく願います。ほかにございませんか。石井委員、ありませんか。

○石井委員 はい。

○安部委員長 粕谷委員、ありませんか。

○粕谷委員 私は、ここに参加させていただいている母体が文化協会という、たづくり事務所があるのでありますが、やはりこの会に出なければ、これだけの公民館活動が分からなかったのです。あそことあそこにあるのよねと、文化祭が中心だと思っているのです。ただ、これだけ地域の方が地域に根差して、人材を発掘し、こうやって人を集めるという、今おっしゃった広報の力によって、もっともっと活用できるし、また、施設を改善するときも、活用数が多ければ、それなりの予算もつくのではないかなとかいろいろ、資料を読ませていただいて感じておりました。本当にこの会はすばらしいなという実感でございます。ありがとうございます。

○安部委員長 ありがとうございます。

すみません、私、時間配分を全然。4時になってしまったのですけれども、令和5年度の事業報告に関してはよろしいでしょうか。申し訳ないです。審議事項があるので終わりにしたいと思いますが、よろしいですか。

(「なし」の声あり)

それでは、報告事項、社会教育委員の会議について、(7)と(8)を一括して報告をお願いいたします。

○丸山東部公民館長 続きまして、社会教育委員の会議、令和5年度第5回及び第6回について御報告いたします。

資料7をお願いいたします。第5回定例会ですが、そちらに記載の場所、期日で実施されております。議題につきましては記載のとおり、報告事項ア及びイは関連する機関の研究、交流、研修会。ウ、令和6年調布市二十歳のつどいについて。エ、都市社連協役員会について報告があったところです。

続きまして、資料8をお願いいたします。第6回定例会につきましても、そちらに記載のとおり、日程、場所等で開催されております。2、議題、(1)令和6年度事業計画(案)の説明としまして、公民館をはじめ図書館、郷土博物館、武者小路実篤記念館、社会教育課の各事業計画案の説明がなされ、質疑が行われました。続いて(2)報告事項が1件、(3)その他として2件の報告が事務局より行われました。

報告は以上となります。

○安部委員長 ただいまの報告につきまして、御質問等ございませんか。

(「なし」の声あり)

なければ、次に進みたいと思います。

続きまして、日程第2、審議事項、(1)公民館利用団体登録(新規)について、ゼンタングルの会、よろしくをお願いいたします。

○丸山東部公民館長 資料9を御覧ください。ゼンタングルの会をお願いします。

この団体は東部公民館主催、体験教室の「ゼンタングル～描くことが癒しになるパターンアート」に参加した有志で、自主グループを結成し活動しており、今回のサークル化への申請となりました。

指導者は、主催事業でも講師をお願いしたゼンタングル認定講師の資格をお持ちの黒崎さんです。丁重で楽しませることを考えた指導で、会員からも好評の指導者でございます。会員数は14名、活動は月1回、サークル活動を通して穏やかな心を育むと同時に作品の美しさに触れ、会員相互の親睦などを目的としております。

1枚おめくりいただきまして、令和5年度の活動記録及び決算書と令和6年度活動計画及び予算書です。

もう1枚めくっていただいて、ゼンタングルの会規約となっております。

説明は以上となります。

○安部委員長 ただいま御提案のゼンタングルの会の承認に伴う御意見、御質問等ございませんか。

私から1点。内容については、登録について異議はないのですが、決算と予算書の関係

で、会費が全て講師謝礼になっているので、運営費も含めて収入の部の書き方というのかな、それについて規約も含めてゼンタングルの会の方と御協議いただいて、もし修正できたらいいのではないかなと思います。というのは、会費が全部謝金になっていますので、本来の会費というのは、謝金と運営費も入っていると思いますので、その辺りを御協議していただければいいのではないかと思います。サークルの申請に関しては、別に異議はないですが、規約の内容をちょっと修正していただければいいのではないかと思います。

○丸山東部公民館長 先方と話をし、内容的には間違っているわけではなくて、いわゆる見せ方というか考え方の一部修正をお願いしたいと思っています。

○安部委員長 規約の部分も併せて修正していただければいいのではないかと思います。

○丸山東部公民館長 そうですね。

○安部委員長 ほかにございませんか。

(「なし」の声あり)

では、ゼンタングルの会につきまして、承認ということよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

承認ということで、よろしく願いいたします。

続きまして、彩りダーニングさんについて、御説明をお願いいたします。

○丸山東部公民館長 資料10を御覧ください。彩りダーニングをお願いします。

この団体も東部公民館主催のダーニング教室に参加したメンバーで実施グループを結成し活動しております。今回のサークル化への申請となりました。

指導者は、主催事業でも講師をお願いした神山さんです。やはりこの講師も丁重で楽しませることを考えた指導で、非常に好評をいただいた指導者でございます。会員数は10人、活動は月1回、サークル活動を通して会員相互の親睦などを目的としております。

1枚おめくりいただきまして、令和5年度の活動記録及び決算書、令和6年度活動計画及び予算書です。

もう1枚めくっていただきまして、彩りダーニング規約となっております。

説明は以上となります。

○安部委員長 彩りダーニングさんの申請につきまして、いかがでしょうか。御質問等ございませんか。

(「なし」の声あり)

それでは、承認ということよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

では、承認ということでよろしくお願いたします。

続きまして、絵手紙花の会もみじさんです。小野館長、お願いします。

○小野北部公民館長 次に、資料11を御覧ください。絵手紙花の会もみじです。

この団体は、北部公民館主催事業の「初めての絵手紙」に参加したメンバーが、令和元年1月から自主グループを結成し活動していましたが、サークルの会員数が10人となったため、今回、団体登録の申請となりました。

指導者の元木まり子さんは、北部公民館登録団体、絵手紙花の会秋桜の会員で、新たな絵手紙の表現方法を実践し、柔らかな物腰の指導は、幅広い年齢層から好評いただいております。活動は月1回、サークル活動を通して絵手紙の手書きのぬくもりや活動の楽しさを広め、次世代に引き継ぐことを目的としております。

1枚おめくりいただきまして、令和5年度の活動記録及び決算書と令和6年度の活動計画及び予算書です。

もう1枚めくっていただきまして、規約及び会員名簿となっております。

最後に参考資料として、調布市公民館利用団体の登録及び援助に関する規則をつけております。

説明は以上でございます。

○安部委員長 ありがとうございます。絵手紙花の会もみじさんの団体登録、申請に関しまして、皆さん御意見等ございますでしょうか。八田副委員長。

○八田副委員長 1点だけ。添付されております名簿のカウントは11名おられるようですね。ですから、この申請をした時点とちょっとずれているのかもしれませんが、10人で申請書のほうを作られていますから、後に確認をいただければよろしいのではないかと思います。よろしくお願いたします。

○安部委員長 予算書ですね。

○小野北部公民館長 名簿のほうは最新のものを取り寄せましたので、3月19日に申請があったのですけれども、その後また1人会員が増えたので、こちらは後日訂正させていただきます。

○八田副委員長 予算のほうもちょっと動くかもしれませんが、そこも確認をお願いします。

○小野北部公民館長 はい。

○安部委員長　よろしいでしょうか。それでは、絵手紙花の会もみじさんの申請につきまして、承認ということでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、日程第3、その他、(1)次回の定例会開催日程について、丸山館長、お願いします。

○丸山東部公民館長　次回定例会の予定でございます。次回は6月25日火曜日午後2時から第3回定例会を東部公民館で開催いたします。詳細につきましては追って通知をさせていただきます。

以上です。

○安部委員長　ありがとうございます。

続きまして、(2)その他、各館から何かございますでしょうか。丸山東部公民館長。

○丸山東部公民館長　机上に本日、チラシを配付させていただいたところでありまして。5月8日まで、当館の専門員、岩手県出身で実際に御家族が被災を受けた内容の写真展などを開催しています。御家族が、東日本大震災で実際に被災され、8日目からお兄様が写真を撮った内容を展示しております。加えて、20日に避難に関する講演会を実施、YouTubeも配信しているところです。

これを1つのパッケージとして実施していますが、先日、東京新聞に記事が掲載され、今まで見たことがないぐらいの紙面を割いて、紙面の3分の1程度でしょうか、特集を記載させていただきました。また、本日時点でYouTubeの再生回数が300回。担当が言うには、こういうカテゴリーで300回というのは、なかなかないとのことですので、お時間があれば、5月8日までに回廊までお越しいただくとともに、ぜひYouTubeも御覧いただければと思います。

以上、報告となります。

○安部委員長　ありがとうございます。ちょっと要望なのですが、これは市のホームページにも載せられますか。

○丸山東部公民館長　既に載せており、リンクが貼ってあります。

○安部委員長　それと、もしほかの館で写真展が巡回のできるのであれば、またそのようなことも考えていただければと思います。

以上です。よろしいでしょうか。では、ぜひ皆様、YouTubeを見ていただければと思います。

それでは、ほかに委員の皆様から何かございませんか。稲留委員。

○稲留委員　大したことではないのですが、これを見ていたら、氏名といっても、最近
は全部姓だけにしているのですか。

○安部委員長　個人情報関係だと思います。

○稲留委員　だったら、氏名などと書かないで姓のみと書いておけばいいのに。

○安部委員長　氏名でなくてね（笑声）。だと思えるのですけれども、そうではないので
しょうか。分からないですが、違いますか。

○丸山東部公民館長　そうです。

○安部委員長　では、記載については御検討ください。

○稲留委員　大したことではないですから。

○丸山東部公民館長　いいえ、ありがとうございます。

○安部委員長　それでは、時間が超過いたしましたけれども、本日の日程は全て終了い
たしました。これにて令和6年調布市公民館運営審議会第2回定例会を閉会いたします。
皆さん、御協力どうもありがとうございました。

閉会　午後4時11分